

平成26年度 行政評価事業別シート

実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	牧 宏
全体計画						経費区分		経常的経費		内線	3326
事務事業名	4097 老人福祉センター管理事業										
所 属	100300 健康福祉部・高齢者福祉課										
施 策	01020400 高齢者福祉の充実										
予算科目	会計	01 一般会計									
	科目	030109 民生費・社会福祉費・老人福祉センター費									
	事業	010000 老人福祉センター管理事業									
事業目的						事業概要・効果					
老人福祉センターを活用して、高齢者の教養の向上、レクリエーション等により心身の健康増進を図る。						老人福祉センターくつろぎ荘を指定管理者に委託し、施設の適正管理運営を行う。					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
老人福祉センターくつろぎ荘の管理運営を須崎市社会福祉協議会に指定管理者として委託し、高齢者の生きがいや憩いの場を提供した。	老人福祉センターくつろぎ荘の管理運営を須崎市社会福祉協議会に指定管理者として委託し、高齢者の生きがいや憩いの場を提供した。
平成24年度 実績	平成25年度 実績
老人福祉センターくつろぎ荘の管理運営を須崎市社会福祉協議会に指定管理者として委託し、高齢者の生きがいや憩いの場を提供した。	老人福祉センターくつろぎ荘の管理運営を須崎市社会福祉協議会に指定管理者として委託し、高齢者の生きがいや憩いの場を提供した。
平成26年度 予定	平成27年度 予定
老人福祉センターくつろぎ荘の管理運営を須崎市社会福祉協議会に指定管理者として委託し、高齢者の生きがいや憩いの場を提供する。	老人福祉センターくつろぎ荘の管理運営を須崎市社会福祉協議会に指定管理者として委託し、高齢者の生きがいや憩いの場を提供する。

指標名						
算式						単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由	指標を測定する方法がないため					
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度 目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		31,606	31,500
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	9	9
一般財源		31,597	31,491
人員数 (人)	正規職員	0.2	0.2
	嘱託職員	0.1	0.1
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	1,371.6	1,371.6
	嘱託職員	272.5	272.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,644.1	1,644.1
市民一人当たりの経費		0.6	0.6
総額		33,250.1	33,144.1

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	2,657	修繕料
13節 委託費	28,949	老人福祉センターくつろぎ荘指定管理者委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	1,500	修繕料
13節 委託費	30,000	老人福祉センターくつろぎ荘指定管理者委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の教養の向上、心身の健康増進を図る。 	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 老人福祉センターを活用することにより、高齢者の教養の向上、心身の健康増進を図ることができる。 	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	<ul style="list-style-type: none"> 施設の劣化が進んでおり、修繕費用が増加する見込み。 	

振り返り（決算年度の取組み課題）
<ul style="list-style-type: none"> 老人福祉センターくつろぎ荘の管理運営を須崎市社会福祉協議会に指定管理者として委託し、施設の適正管理運営を行った。

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）	次年度以降の方向性	進め方の改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
<ul style="list-style-type: none"> 施設の適正管理ができた。 高齢者の増加に対応した施設運営(利用者を増やす)の検討が必要となる。 		<ul style="list-style-type: none"> 高齢者人口の増加に伴い、自立支援を目的とした生きがいと社会参加について検討する。 	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	